

新型インフルエンザ対策の万全を求める申入書

2009年5月18日

愛媛県議会日本共産党議員団 佐々木泉

愛媛県知事 加戸守行殿

新型インフルエンザの国内感染が16日明らかになって以来、急速に感染が広がり、県民の不安を高めています。県として対策に万全を期すよう、下記のとおり申し入れます。

記

- 1、新型インフルエンザの予防・検疫体制を強化し、感染地域との接点となる松山空港、各港湾、JR駅、高速道路のサービスエリアなどでのマスク着用、手洗い・うがいなどの設備・備品の完備とその励行、そのための掲示、必要な係員の配置をすすめること。デパート、劇場など、多数の人が集まる場所でも同様の対策を進めること。
- 2、地域での住民支援などを盛り込んだ「行動指針」を各市町ごとに急いで作成するよう援助し、必要な体制強化を求めること。保健所の体制を強化し、迅速な対応ができるようにすること。感染地域ではマスクなどの品切れが問題となっているが、そういうことのないよう県民に必要な数のマスク、速乾性アルコール製剤、うがい液などの確保を急ぐこと。
- 3、備蓄タミフルなどインフルエンザ対策用薬剤の供給体制を確実にすることをはじめ、医療体制の整備・拡充を進めること。インフルエンザ対策のセンターとしての県立病院の役割を明確にし、人と体制、予算の確保を行なうこと。
- 4、感染拡大を食い止めるため、県民の財政負担なしの原則を明らかにすること。また、国に対して必要な予算の確保を求めること。

以上